

(款) 55教育費 (項) 20社会教育費 (目) 10文化財保護費

◎保護整備の経費

永福寺跡環境整備事業

文化財課

【総合計画上の位置づけ】

歴史を継承し、文化を創造するまち

歴史環境:豊かな歴史的遺産が大切に保全され、伝統的な文化が保存・継承されているまち

【事業の目的】

対象 国指定史跡永福寺跡

意図 国指定史跡永福寺跡保存整備基本計画に基づき史跡を保存・整備し、公開活用を図るため。

効果 歴史教育の場として学校教育や生涯学習に提供し、幅広く活用することができる。

【事業の内容】

(1) 永福寺跡環境整備事業

- ・国・県の補助を受け、国指定史跡永福寺跡の環境整備のため、自然環境基礎調査、境界測量、三堂基壇・苑池復元工事(土砂搬出・造成工事含む)を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

国指定史跡永福寺跡の環境整備(2-1-2-②)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
155,266	144,545	123,247		21,298
主な支出内訳				
・永福寺跡環境整備事業				
史跡永福寺跡整備委員会委員謝礼				300
三堂基壇・苑池復元工事監理業務委託料				0
自然環境基礎調査等業務委託料				3,404
史跡地土地測量業務委託料				887
三堂基壇・苑池復元工事請負費				107,201
三堂基壇・苑池復元工事その2請負費				11,435
主な特定財源				
・国県支出金				82,150
・地方債				36,600

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 史跡永福寺跡は、世界遺産の候補遺産となる予定の史跡であることから、平成24年度までに目に見える形の史跡(歴史)公園として公開・活用できるよう着実な事業の推進を図っていかねばならない。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 国庫補助事業として位置付け、早期に整備が図れるよう補助金の確保等について国・県と調整を図った。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 学識経験者及び地元代表からなる史跡永福寺跡整備委員会から、具体的な整備手法等について指導・助言があったため、その指導・助言に基づき整備を行う必要がある。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 史跡永福寺跡整備委員会に適切に応えるとともに、引き続き国・県及び関係部局、地元住民との調整を行い、着実な事業の推進を行う。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	史跡永福寺跡の整備を着実に実施し、歴史教育の場として公開・活用していく必要がある。				
担当課長氏名:		中 里 一 男			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	史跡永福寺跡は、歴史遺産として保護・保存し、歴史教育の場として公開・活用するために整備を推進していく必要がある。				
担当部名	生涯学習部	部長名	金 川 剛 文		